

公益社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会 会報

平成 26 年 新年号



- 目次 -

- P1** 巻頭言
- P2** 新年の挨拶~地域代表者~
- P8** 公益社団法人取得記念行事報告
- P11** 東洋療法推進大会 in 新潟 / 理事会検討事項
- P13** 活動報告 11月総会 / 文化の日功労賞受賞報告
- P14** 日本型統合医療における鍼灸マッサージの役割
- P17** 今後の予定
- P18** 千葉県鍼灸マッサージ協同組合よりお知らせ

巻頭言

会長 齊藤 曠



迎春

会員の皆様には、明るく希望に満ちた新年を迎えられたことと存じます。

昨年中は、県師会運営・事業に対しまして絶大なるご支援、ご協力をいただき役員、事務職員一同心より御礼申し上げます。

2013年は日本にとって、また当会にとりましてすばらしい歴史的な年でありました。

2020年のオリンピック開催地が東京に決定し、そして当会の公益移行が認可され、この上ない喜ばしい事であります。

すでにご承知のとおり、三項目の目標を掲げこれからはその一つ一つについて更に追求し実行していかねばなりません。

- 1、 地域奉仕活動、ボランティア活動等の充実、
- 2、 リーフレット、パンフレット等の作成、安心安全マークのPR、
- 3、 各研修会、講演会の内容充実、
- 4、 高齢者に対し、身体機能改善等の手助け、
- 5、 スポーツ選手に対する身体的、精神的ケア、
- 6、 各スポーツに適した機能促進、改善、予防、

等いろいろありますが、みんなで何ができるか、必要かそしてこれからの共有ビジョン、具体的な目標実施に向けて考えていきたいと思えます。

会員一人一人が公益団体の自覚を持ち、おかれた立場を認識し、これから更に協力し合い、より良い業団を創り上げて行きたいと考えております。

どうぞ、今年もよろしくお願ひいたします。

新年の挨拶

旭支部代表 石橋和彦

.....



明けましておめでとうございます。
昨年中は、旭市で千葉学会を行い、たくさんの皆様においでいただきまして、ありがとうございました。

また、12月1日の公益法人取得記念式典におきましては、千葉県鍼灸マッサージ師会の会長賞をいただきまして、ありがとうございました。

役員の皆様方、そして会員の皆様方に深く感謝申し上げます。

今年も、千里の道も一歩からの気持ちで、大きな事はできませんが、小さな努力を積み重ねて、ステップアップして行けたらと思います。

本年もよろしくお願いいいたします。

八千代支部代表 川端隆治

.....



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、本年もよい年になりますよう祈念いたします。

昨年一年間は、私の中では、とてもめまぐるしい一年となりました。

前八千代支部長の保土田先生の急逝。公益社団法人への移行。千葉でも被害のあった竜巻や台風被害。いろいろなことがあった昨年でした。

今年は、穏やかに・・・と行きたいところですが、保険請求の難しさが年々増ってきており、予断を許さない状況であります。この状況を、きちんと会員の皆様と理解し合い、より強固な組織作りをして、社会に還元できるような体制を作れたらと常々思います。また、地方の先生方の貴重な意見を、今年も引き続き拝聴させていただき、良い組織作りに役立たせて頂けたらと思います。

八千代支部としては、保土田前会長の急逝に伴い、急遽会長職を引き継がせていただきましたが、右往左往しながらあっという間に過ぎてしまいました。本年は、会員さんと意見交換をしながら、良い支部にしていけたらと思います。

さらに、他支部との交流や、八千代市政へのアプローチにも会員の皆様とできればと思っておりますので、その節はご協力のほど、よろしくお願いいいたします。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、重ねてよろしくお願いいいたします。

香取支部代表 越川和夫

.....



公益社団としての初新年、明けましておめでとうございます。

最近の某国は、世界から受け入れられない方向に、一生懸命向かっているように感じられます。同時に、もしかしたら、私達も、世間から見たら同様

に見えるのかも？と素朴に思う今日この頃です。

何が一番問題かという、『伝え方』と思います。私達は、『気』という見えない世界を、脈診はじめ、相手に伝わらない表現を伝統として当たり前のこととして理解し、使っています。でも、世間から見たら、今の某国同様に見えるのではないのでしょうか？

今年の新年の言葉として、『全ては伝え方が 9 割』を提言します。公益社団の認可を機に、羅針盤の無い気の世界から、世間と共有できるバロメーターを羅針盤とした安心・安全な世界に、皆様と共に脱皮したいと思います。

皆様、本年もよろしく願い申し上げます。

習志野支部代表 杉田秀雄

.....

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

平成 26 年の新春にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

一昨年は東日本大震災で大変に厳しい年でありました。昨年は震災からの復興に向けて前進している状況ですが一日も早く前の生活環境に戻り、元気になりたいと願っている人達がおおくいるものと思います。今日の地球内部の地盤も大分異変が起きているようです。どこに災害が起きても不思議ではないということが学者達の一致した意見として発表されております。もし富士山が噴火したらという想定で救助訓練の計画もなされていることで、これは地球全体に異常現象が発生している状況です。



さて、千葉県鍼灸マッサージ師会が社団法人より、昨年10月1日付けで公益社団法人に認可を得ることができましたことは、執行部はじめ各理事並びに会員の理解と協力があって、また、事務局の日頃の努力があったからだと思ひ、10月1日を門出にして、今まで以上に意識を新たにして邁進していかなければいけないと思ひます。

次に街中を歩いていると、治療院、療術、整体、足裏、健康体操教室等、左を向いても右を向いても多く見られます。昔は、あまり目立たない治療院でありましたが、市民の人達も多くあることに気が付いて驚いています。客とり作戦で新聞折り込みを利用しています。私達、三療の広告は、はり・灸・マッサージのみで他のことは法律にふれて許されません。折り込みチラシの内容は、紙面が狭しと云わんばかりに書かれています。今の世の中は悪知恵が徳とするあり様です。保健所に行っても職員が少ないことを理由にして断られたこともあります。

最後に今年の干支は午年で飛躍の年にして、身体に気を付けて頑張っていきましょう。

東葛支部代表 鈴木克人

.....

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には本年も良い年、発展の年になりますように願っております。東葛地区の会長となりまして早く3年がたってしまいました。中々業界を良くできればと活動を行っておりますが思うようには行かないのが現状であります。若い会員が少しずつ入会になり徐々にではありますが組織的な活動もできるようになっ



ております。

本年も、2月1日(土)に柏駅伝にボランティアマッサージを行うことになっております。色々な先生方の協力で鍼灸マッサージのよさをアピールできる場所にもなりますので多くの方にご参加をいただけるようお願いいたします。詳しくは別紙ご案内をみてお申込みください。

また、昨年同様に流山の介護1次予防になります。運動教室も月に1回継続的に行っております。続けることが力になり高齢者の健康維持少しでも貢献ができるようになるよう本年もがんばりたいと思います。会員が増えることが今年目標にもなると考えますので興味のある方はご協力をお願いします。

本年も、一人でも多くの会員が東葛地区の人に健康をご提供できる環境づくりに貢献していきます。今後ともよろしくようお願いいたします。

市川浦安支部代表 富森猛

.....



新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、市川浦安支部の昨年の支部活動としましては

- ・9月13日(金)に毎年恒例の「市川市はりきゅうマッサージ敬老奉仕会」の開催。
 - ・毎月第4金曜日の「はりきゅうマッサージ無料相談窓口」
 - ・毎週水曜日の市川市老人保健施設「ゆうゆう」での入居者への鍼灸マッサージ施術。
 - ・信篤公民館の秋季講座において「マッサージ講座」の開催。
- などが挙げられます。特に「市川市はりきゅうマッサージ敬老奉仕会」は行政の協力もあり昨年で30周年を迎えることが出来まして、多くのメディアで取り上げていただきました。

今年の目標としましては

- ・新規会員の獲得および会員同士の横のつながりの強化。
 - ・行政との関係をより親密にし、地域活動(特に浦安地区)の活性化に努める。
 - ・地元警察との連携を図り、悪徳無免許業者の摘発への協力体制の強化。
- などを考えております。

新しい年も皆様にとって素晴らしい年でありますように祈念いたしまして年頭のあいさつとさせていただきます。

佐倉支部代表 日向正彦

.....



あけましておめでとうございます。
現在佐倉市鍼灸マッサージ師会の会員は11名で、1名が治療院勤務をしていてその他の会員は全員開業しています。

ここに書けない位の安い年会費の中から、年に1回地域新聞に広告を出し、当会会員の治

療院では佐倉市施設利用券を利用できるということと、安心のマークを載せ、私が作ったホームページの紹介などを行っています。

ホームページには、各治療院の宣伝、国家資格を持っている、賠償責任保険に入っているなどを載せて、このホームページを見て各治療院へ来院する患者さんもいます。会費のほとんどを広告に使ってしまうので、ホームページ上で自分の治療院の宣伝が出来ない治療院勤務をしている先生のためにも、お金をかけずに出来ることとして、年に1回勉強会と治療、経営等に関する話し合いを行い、その後忘年会か新年会に移行します。

市川・船橋・成田地域などのように、市民向けのボランティア・セミナー、行政へのPRなどまでやっている地域と、その地域代表者の先生には本当に頭が下がります。

佐倉では今のところそこまでやる計画はありませんが、今後近くの地域と合同で、臨床と経営に関する研修を行いたいと思っています。その時にはお近くの地域の皆さん、よろしくお願ひします。

今後ホームページ等で、もっと会員を増やしていく努力をして、一緒に地域での活動を活発にして行く会員(出来ればこの会をお任せ出来る会員も・・・)や、千葉県師会の会合に積極的に参加してくれる会員も出てくればと思っています。

会員の皆様、千葉県師会の皆様、今年もどうぞよろしくお願ひします。

船橋支部代表 藤林 克仁

.....



新年明けましておめでとうございます。

昨年の干支の巳年から今年の午年にバトンタッチをして、今年は更に馬力をかけていきたいと思ひます。

船橋鍼灸師会としては、昨年は毎年恒例の福像めぐりにてボランティアマッサージをおこない、59410円の義援金を集めることができました。NPOの福像めぐりの会を通じて、三陸の市町村に義援金を送っていただけるように依頼をしました。

これもひとえに会員の皆様の協力のお陰と紙面を借りて御礼申し上げます。

もう一つ、船橋鍼師会においては高齢者虐待防止の地域ケアネットの18号議員となって行政と年に2回合同会議を行っています。これは高齢者の虐待に関して医師会・歯科医師会・薬剤師会・社協・ボランティア協議会・警察・接骨師会などの一般団体と市役所の介護、福祉関係・医療関係の課長、部長が参画して行く合同会議です。

当会も虐待防止のネットワークを構築して市民の皆さんに治療院を通じて行って行きたいと考えておりますが、なかなか協力をいただけないのが現実です。

今年こそは、行政に参画をして皆さんの地位の向上を上げていきたいと思ひているこの頃です。一人でも多くの会員が参加していただけるようよろしくお願ひ申し上げます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

成田支部代表 宮永一郎



あけましておめでとうございます。

昨年は6月に富里市スイカロードレースにて奉仕マッサージ、10月に成田健康福祉祭にて講演会、奉仕マッサージ、11月に富里市福祉祭にて奉仕マッサージを行いました。行政との折衝としましては成田、富里市長との面談を行い鍼灸マッサージ師会の活動報告、無資格問題利用券の維持等話しを致しました。

10月に千葉県鍼灸マッサージ師会が公益として新たに活動していくにあたり私達成田地域も既存の活動は元より今後更なる努力を重ね市民、県民の為になるよう必要とされる団体鍼灸マッサージ師になる様、資質向上に努めるべく活動していく所存です。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

いすみ支部代表 元吉正幸



鍼灸・マッサージを行うことで大切なことは観察することである。

観察することでその人の体の状態はかなりよくわかる。

よくわかったうえで、鍼灸・マッサージを行うからよく効くのである。

よく観察すれば、危険な病気も推定できる。

病名はわからなくても、適切な医療と連携できる。

観察することで病気を鑑別し私たちがやるべきことがわかるのだ。

観察すればわからない事が起こる。

知識がなければ観察はできない、ただ見ているだけになる。

豊かな知識を持ち人の体を観察できるようになればいろいろなことがわかり、やるべきことがわかる。

観察は、話して聴いて観察する、触って観察する。

私たちの五感を使い観察する。

そのうえで、鍼がよいか灸がよいか。

どんな手技を用いたら良いか、そしてどのような効果があったか。

観察する、あん摩がよいのか、指圧がよいのか、マッサージがよいのか。

観察によっていろんなことがわかってくる。

そして楽しい、私たちはいろんなことができるのだ。

今年は特に観察をテーマにしていきたい。

研修会、ご期待下さい、そして是非ご参加ください。

千葉支部代表 米井昭夫



会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。

今年も変わらぬご指導ご鞭撻をお願いいたします。

さて、今年は、消費税が引き上げられます。来年度にはさらに引き上げが予定されている以上治療料金や会の会費など考えなければならない年になりそうです。

また、「リラクゼーション」業者の進出により、業が相当に荒らされています。彼らは、法的な縛りや監督するところがないために好き勝手にやっています。しかしながら、不満の声が上がらないのは、施術前に誓約書を取っているところにあります。何か問題があっても施術を受けた方が悪いのです。われわれも、治療開始前に十分な説明をし、症状の様々なへんかがあることに對し、同意を得たうえで治療を進める時代になっています。

われわれは、広告など不当な制限を受けており、かれらに對抗するには、治療料金に見合った満足感を患者様にあたえなければなりません。各治療院の技は様々であるとは思いますが、診察や症状に対する評価の技術や治療法などはある程度同じようにできる必要があると思います。また、接客法など考えなければならないところもあると思います。研修で、上記の問題が取り上げられていったらと思いませんか？その時は是非とも参加してください。

以上まとめませんが、思いつくままかいてみました。会を活性化するには、皆様の協力が一番です。けっして無関心にならないようお願いいたします。

今年も頑張りますので宜しくお願いいたします。新年に当たっての挨拶といたします。

市原支部代表 若宮美代子



.....
新年あけましておめでとうございます。

私が鍼灸、マッサージを生涯の仕事に選んだのは高校3年の時でした。何のために生まれたのか、其れがわからない無価値な人生は送りたくない。目的観無く何となく生きて、食べて空しく死んでしまう、動物的人生ではなく、人のため、社会のため、自分のために何か一生涯貢献し挑戦していく。充実して価値ある人生を送ろう。人に寄り添い一緒に苦しみを和らげてより価値ある人生を共々にと志したからでした。現実に開業してからは、社会に貢献どころか同志の足並みを揃えるのも大変でした。

当会に入会して36年今では先輩、同志の惜しめない協力で少しずつ前進しています。

26年は、市原で千葉学会開催を合言葉に市原支部全員異体同心でお迎えしたいと願っています。



公益社団法人取得記念式典開かれる

平成 25 年 12 月 1 日(日)、ホテルポートプラザちばにて、公益社団法人取得記念式典が開かれた。参加人数 100 名。

第一部では平岩恵子理事が司会を務め、記念講演が行われました。

第二部の祝賀会では、無資格者対策の DVD 放映、千城ウインドシンフォニカによる開会演奏に続き、表彰式が行われました。受賞者を代表して、市川浦安支部の飯作吉民先生が謝辞を述べました。また、野田佳彦元総理、文部科学副大臣の桜田義孝氏ら大勢の来賓より挨拶を頂きました。

第三部の懇親会でも大勢の来賓からご祝辞をいただきました。乾杯、歓談の後に、千葉県鍼灸マッサージ協同組合の染谷雄一代表より、同組合の事務局員 3 名に感謝状が手渡されました。千葉ジェッツによるチアリーディングの余興も好評で、盛り上がりを見せました。

第一部 記念講演会 『国民の健康福祉向上の為に鍼灸マッサージ師ができること』

講師：杉田久雄(公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会会長)

第二部 祝賀会

受賞者一覧(敬称略)	
千葉県知事 感謝状	飯作吉民 多治見茂男
千葉県議会議長 感謝状	米良喜久男 越川和夫 村上えい子
全日本鍼灸マッサージ師会 会長賞	藤林克仁 鈴木正司 宮本保彦 関静夫
千葉県鍼灸マッサージ師会 会長賞	仲野明治 杉山祐介 石橋和彦 日向正彦 佐藤洋司 湯谷斗士明 濱田将光

第三部 懇親会



当会が公益法人格の認定を認められたことを内外に示すための記念式典が、県知事をはじめ、関係の衆参の国会議員および関係団体の先生方のご臨席をいただき、滞りなく開催することができました。これも、会員の皆様をはじめ、関係各位の皆様のご尽力があったからだと思います。心より感謝申し上げますとともに、その概要をご報告します。



当日は雲一つない晴天のもと、10時半より親団体でもある公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会会長の杉田久雄先生に『国民の福祉増進のために鍼灸マッサージ師ができること』のテーマでご講演をいただきました。その内容は、光田先生のレポートにお譲りいたします。

12時より祝賀式典が華々しく開かれました。「無資格者撲滅」のビデオに続き、開会演奏として、千城ウインドシンフォニカによるファンファーレ『はやぶさ』のすばらしい演奏で式典の幕が開きました。

最初に齊藤会長により決意表明ともいえる挨拶があり一同気持ちを引き締め会発展のためになおいっそう頑張っていかなければという思いになりました。

続いて、本会の公益法人としての目的である、「県民の健康増進」、「高齢者支援」、「スポーツ競技への支援」に特に功績のあった会員の皆様を表彰いたしました。表彰を受けられた皆様おめでとうございます。今後ともますますご活躍されるとともに当会の発展のためにも、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



また、平成25年文化の日千葉県功労者表彰を習志野支部の杉田秀雄先生が受賞されたとの朗報がありました。関係各位のご祝辞をいただき、つつがなく式典を終えることができました。

13時から懇親会となり、楽しい時間を過ごすことができました。

懇親会を盛り上げる余興として「千葉ジェッツ<チアリーディング>」のパフォーマンスで花を添えていただきすばらしい会となりました。



《公益式典 講演レポート》

協同組合理事 光田幸子

全鍼師会会長であると共に多数の役職においてご活躍されている杉田会長が今回は国民の健康福祉向上の為に我々ができることの中でも、団体としての働きかけの重要性について講演された。当会についても、全国に先駆けてタウンページ業種欄から無資格者を廃除する事ができた実績にお誉めの言葉を頂いた。

また会長の発案により開催した多数の議員を招いての無資格者対策の総決起大会の様相などの話があり、このように行政や議員、医師や他業者など関連する人々に我々の仕事を正確に知って頂く事が大切だと訴えた。



こちら側が“お知らせしていく”と言う姿勢が発展に繋がり、国民の健康福祉に貢献していける。と、杉田会長のこの業界、会員を守りたい、発展させたいとの熱意を感じる講演であった。

《公益記念取得祝賀会参加協力に感謝》

会長 齊藤 曠

祝賀会当日は晴天に恵まれ、顧問の野田佳彦元総理をはじめ、多数のご来賓の皆様を迎え、10時30分～15時30分まで和やかな雰囲気の中で無事終了することができました事は、会員、事務職員、理事の皆様のご協力のおかげと存じます。

このような事業を開催する事により当会の存在感、鍼灸マッサージに対する認識、無資格問題など少しは理解されたのではないかと思います。

中でも、2、3のご来賓の方から無免許？知らなかったよ、とか もっとアピールしなきゃだめだよ、と言ったご意見を伺い大変励みになりました。

公益移行を機に、当会発展のために皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

東洋療法推進大会 in 新潟

『東洋医学を知る！ ～伝統と科学の調和を目指して～』をテーマに、第12回東洋療法推進大会が平成25年10/20(日)～21(月)、ANAクラウンプラザホテル新潟で開催された。千葉県鍼灸マッサージ師会からは15名が参加した。



特別講演は安保徹氏(新潟大学名誉教授)による『免疫力アップの生き方と東洋療法』。シンポジウム『厚生労働省医政局医事課との定期協議に物申す』では、千葉県鍼灸マッサージ師の無資格者対策への取り組みが紹介された。その他『療養費の新しい制度づくりについて考える』、『かかりつけ鍼灸マッサージ師になるには』などのシンポジウムが行われた。

『かかりつけ鍼灸マッサージ師制度について』に参加して

相談役 越川和夫

講演を拝聴し、「現実だけでは行政」「現実と理想の両立が政治」だとの自民党の小泉進次郎さんの言葉が頭をよぎりました。これによれば、以前の当会や全鍼は行政、今の当会は政治、そして理想だけの今の全鍼は学者か??との印象を受けました。

とはいえ別の視点で見れば、現実を打開する為の制度を次々と打ち出しているとも言えます。特にかかりつけ鍼灸マッサージ師制度は有望な制度なのかもしれません。

以下、研修会の要旨です。

1. 今年度の全鍼の目玉として『将来ビジョン検討委員会』を立ち上げ、理念とビジョンを検討している。
2. その一つの案として、かかりつけ鍼灸マッサージ師制度を検討している。
3. 認定案として、
 - ①全鍼会員であること。
 - ②臨床経験10年以上、を基本に10年未満の会員については、年25単位以上の生涯研修履修、その他全鍼が推進している地域健康づくり指導者などの専門領域講習の履修歴を加味して認定する予定。
4. かかりつけ鍼灸マッサージ師に求められる4大要素のうちの3つ『治療、予防、相談』は治療院で日常的に行っていることであり、相性も良く、4つ目の『連携』がクリア出来るかが鍵。
5. 具体的な連携方法として統合医療支援システムの紹介が別講座であり、これらが縦横連動出来れば現実度の高い提案と思われれます。
6. 併せて、地域健康づくり指導者になり、地域支援・介護予防事業に参入することの意義、養成の概要(カリキュラム等)、200名以上が受講し、10地域で参入、30地域で活動中等の現状報告がありました。

全体としては画期的な取り組みと思います。反面、格差の拡大?との懸念も払拭出来ない、諸刃の剣なようにも感じました。ここで、重要なことは、時代は変わろうとしていることです。古きを大事にしながらも、時代と共に私達も変わらなければ、時代に取り残されてしまうのかも?そんなことを考えさせられた講演でした。

視覚障害者部会分科会に参加して

副代表 染谷雄一

全鍼大会in新潟では、多くの全国の会員があつまり情報の共有をしました。そこで視覚障害者部会が主催した。分科会のご報告をさせていただきます。

はじめに全鍼師会副会長の堀先生より、視覚障害者の人との関わり方やマナーなどのお話がありました。中々声が出せない視覚障害者が多いので自分の意見や困りごとを人に相談をするのはとても大切なことの話があり、自分の体験から視覚に障害があっても出来ることはたくさんあることを説明されておりました。みんなの協力で業界も鍼灸マッサージ師や視覚障害者も社会参加できることが多くあるので勇気を持って一言を話せるようにしましょうと強く聞き取れました。

今年は、視覚障害者の補助具を手にとりて色々見る事ができました。骨伝導のヘッドホンや拡大電子ルーペ、読み取り機会や振動時計などなど便利な機械がたくさんありきっともっと便利にすごせるものもあるのだらうと感じました。視覚障害者の情報をもっと県師会の中でも交換できるようにしていかなければいけない感じがしました。具体的にどのようにかはこれからですが、会員の意見を聞ける場を作りたいと感じております。何かありましたらご意見をお願いします。



— 理事会で検討している事項 —

①公益社団法人の会費について

10月1日より公益社団法人として運営をしております。来期の事業運営を検討する上で現在の会費のみの収益では基本的な運営が大変になってしまいます。

理事会では、経費節減に努めて参りましたが、来年より消費税の値上げで物品・運営費も増える予想もあります。そこで理事会では会費の値上げもしくは理事定数の削減を検討しております。

総会での会員のご支持をいただいてからの変更とはなりますが、できるだけご意見もいただきながら運営を行ってまいりますので皆様のご意見をお願いします。

②千葉県介護予防教室につきまして

平成26年3月23日(日)千葉市民会館で高齢者の健康福祉につながる地域介護予防教室の指導者を育成する教室を開催いたします。鍼灸マッサージ師が健康運動指導をすることで地域高齢者の健康増進につながりますので研修を受けていただく準備をしております。

③平成26年の県民公開講座について

昨年は、認知症についての講演をいただき県民の多くの方々にご来援をいただきました。本年も9月に予定をしておりますが、テーマ・講師等のご希望ご意見を会員の皆様よりご意見をいただき多くの県民の公衆衛生、福祉につながる事業としていきたいと思っております。

以上、皆様のご理解を賜りますよう、よろしく申し上げます。また、ご意見等も積極的にお待ちしております。

平成 25 年総会

11月22日(日)千葉市民会館にて総会が開かれました。

会員数 343 名、定足数 172 名、出席 23 名、委任状 163 名、書面表決 21 名、合わせて 207 名で成立しました。

- 1) 平成 25 年度事業報告について
- 2) 平成 25 年度決算報告について
- 3) その他：会費値上げ予定の件
準会員制度の件
協同組合取扱商品のご紹介
川崎常泰氏の除名の件



文化の日千葉県功労賞 杉田秀雄先生が受賞！

文化の日にあたり、顕著な功績を挙げ、本県の発展に多大な貢献をされたとし、習志野支部の杉田秀雄先生が『健康福祉功労賞』を受賞され、平成 25 年 11 月 3 日(日曜日)千葉県議会議場にて表彰式が行われました。

— 功労実績 —

昭和 54 年より千葉県鍼灸マッサージ師会の理事として、それまで健康保険対象外であった鍼灸マッサージを県民の為に安く治療を受けられるように保険適応できるように県に働きかけました。その活動の中で視覚障害の理事を補佐し続けました。平成 25 年 10 月 1 日に当会は公益法人へ移行しましたが、その発展を陰ながら支える活動は目立たない地道な作業でしたが、その功労は計り知れません。

昭和 54 年より習志野市鍼灸マッサージ師会の会長として、地域の高齢者支援のために毎年 9 月に敬老の日マッサージボランティアを開催しています。また、公衆衛生の重要性を認識し衛生思想の普及向上に全力された功績に対し昭和 50 年 2 月 9 日習志野市保健所より表彰状を頂きました。

習志野市実籾で治療院を開業して 39 年、じっくり丁寧な診察と施術で地域に親しまれる治療家として現在も活躍しています。



日本型統合医療における鍼灸マッサージの役割～IMSS(統合医療支援システム)

副代表 石川英樹

全鍼師会にて、医師である織田先生より今後の鍼灸マッサージが統合医療に関わる大きな必要がある話が聞けました。それにはこれからの私たち業界人の新たなる考え方も必要ではあると感じました。

色々な業種の人たちが国民の為に力を合わせて行っていける基盤づくりに関わっていけるのはとても未来が明るくなりますので会員の皆様にも新たな考えとして前向きに検討をしていただければと下記に全鍼師会での内容を連絡させていただきます。

是非、皆様の色々なご意見を県師会でも話し合いたいと思いますのでお読みになって思った事をご連絡いただければと思います。

日本型統合医療における鍼灸マッサージの役割 ～IMSS(統合医療支援システム)の活用～

一般社団法人日本統合医療支援センター

代表理事 織田聡

最近、私の外勤先である某クリニックでも「療養費同意書」の交付にストップがかかりました。安易に同意書の交付をしないようにと保険者等より申し入れがあり、院長の判断で一律交付はしない方針となったのです。私は事務とかなりやり合いましたが、同意書にまつわる不遜な施術者の対応を指摘されると、私と施術者の関係はそうではないと言い張るしかありませんでした。皆さんの治療院でも同意書を断られることが増えてきているのではないのでしょうか。おそらくこの流れは、よほど世の中の景気がよくなり、保険者の赤字が解消し、医療に対する国庫抛出金の負担感が軽減しない限り続くと思います。

同意書に対する誤解は少なくありません。なぜなら多くの医師は保険診療について習う機会がほとんどないからです。ある日突然、患者さんが同意書を書いてくださいと紙切れ一枚を持って受診してきても医師には意味がわからないのです。ただでさえ診療に直接関係のない書類仕事に追われているのに。。。

鍼灸あんまマッサージに理解のある整形外科の友人でも、この「療養費同意書」の問題点をこのように説明します。

「同意書がなぜ治療院側に置いてあるのか。」「同意書を書いてもなぜ返事が無いのか。」

患者さんが鍼灸あんまマッサージを施術するのがよい(保険診療が妥当)と医師が判断する同意書であるのに、なぜ同意書が医師側でなく施術者側に用意されているのかという、そもそもの同意書の意義に関する疑問と、同意書をせっかく書いても情報が一方通行でフィードバックがないことがあるという問題です。返書を書かないというのは不遜だという問題だけではなく、せっかくの同意書交付による連携の芽を摘み取るもつたいない振る舞いです。

国民医療費と比較しても、はり師、きゅう師及びあん摩・マッサージ・指圧師の施術に係る療養費が社会保障費に占める割合は微々たるものです。しかし私は、この療養費に依存する形で業界が発展するには無理があるように感じます。厚労省は社会保障費を「限られたパイ」と表現し、その適正な分配は常に議論されているところですが、お鉢が廻る頃にはひとか

けらも残っていない可能性もあるわけです。

では、社会保障費に依存しない業界の発展はあり得るのでしょうか。健康保険の外に眼を向けると大きな市場が存在することに気がつきます。補完代替医療は3~4兆円の市場をもつとも言われます。その多くはサプリメントなどの健康食品ですが、無免許施術者による「もみほぐし」などの業界は急成長しており、経済産業省は日本標準産業分類に「リラクゼーション業(手技をもちいるもの)」を新たに認める決定をしました。

この拡大する市場には国民の需要があつてのものです。この需要の受け皿に医療機関がなり得ないのは「混合診療禁止」の原則のためです。市場原理とは異なり社会保障の枠組みで整理されるため、この医療に深く関わりを持つ補完代替医療という需要が、医療とは分断されてしまっている不幸が日本の国民皆保険の暗黒面と言えます。混合診療には多くの問題がありますので、混合診療解禁はせずに、分断された需要をつなぐのが日本型統合医療です。

そもそも統合医療とは、いま利用できるサービスを(西洋医学の枠を超えて)最大限に活用する診療理念です。西洋医学的待機による管理をしながら、患者さんの様々な背景(西洋医学的病状・生命に対する価値観・人生観・文化的背景・社会的背景・経済的背景・宗教的背景など)を勘案し、最も適した方法を、患者さんと”いっしょに”決めていく医療をさします。

そう考えると、鍼灸あんまマッサージは、日本において最初に活用すべき医療資源・サービスであるといえます。国家資格保有者である鍼灸師・あんまマッサージ師が医療機関と連携し、日本型統合医療の原型となるのです。そのために、鍼灸あんまマッサージは、患者側の需要に答えるべく保険診療の枠にとらわれないように、保険診療(療養費)に依存しない形でサービスを提供し、緊密に医療機関と連携すべきです。もちろん、今日からすぐに療養費に依存しない診療を強要するわけではありません。近い将来のために、療養費にばかり眼を向けるのではなく、大きな補完代替医療の需要に業界として応じられる市場構造改革を引き起こそうというのです。

日本統合医療支援センターは、このような医療機関と治療院の連携を支援しています。具体的には、①連携のためのネットワークとして誰でも簡単に活用できる「IMSS(統合医療支援システム)」を開発し、②医師と施術者の共通言語(プロトコル)を構築する「SIM セミナー(統合医療支援セミナー)」を開催しています。IMSSはタブレットを用いた電子カルテシステムです。日々の診療を適切に記録できる誘導型のカルテシステムであり、経穴の情報などが参照可能な診療支援システムであり、センターを介した医師との連携のための通信手段にもなります。

SIM セミナーは「鍼灸あんまマッサージ師と連携したことを前提として、医師が施術者に知ってほしいと思う知識」を提供するセミナーです。今年度は東京で12回予定(既に8回終了し、ご好評をいただいています)されていますが、平成26年度は全国で開催を予定しています。

IMSSは世界初の鍼灸あんまマッサージ専用タブレット端末として、業界を統合医療の最先

端へと導きます。医師との連携が前提のシステムですので無資格施術者との差別化をはかるには最適です。導入費用も月に1～2人多く施術すれば元がとれるぐらいの低コストに押さえてありますので、多くの方に利用していただき、医師との連携を推し進めていただきたいと思います。(平成26年春に運用開始予定:予約受付中)

私は一臨床医にすぎませんが、鍼灸あんまマッサージ師の皆さんは、温厚篤実、常に患者サイドで丁寧な施術される方が多いと感じています。医師が連携するならば、まずは皆さんの業界だと思えます。微力ながらこのシステムで、皆さんの業界が活性化し、それによって日本の医療が臨床の現場から少しでも良くなるように願ってやみません。

※ IMSS/SIM セミナーについては <http://jscim.or.jp> に詳細を公開しています。

★パンフレット等の消費税の表示について

協同組合代表 染谷雄一

来年消費税が値上げになります。消費税の表示が、税込価格でなくて税別でもよくなるようです。下記の説明がわかりやすいと思いましたのでお送りします。

2014年4月からの消費税増税に伴い、2013年10月1日から2017年3月末までの期間は、商品の価格表示に「税抜き価格表示」でもよいことを認めています。

消費税の税込表示は、2004年度から「税込み価格」が義務づけられていた。本体価格が100円の場合、値札の表示は105円としなければならなかった。この価格表示を今後は100円にとしてもよいことになる。

その理由としては、「消費税増税が短期間で2回も行われるので、業者が価格を変更する負担を少なくするため」とのこと。

「税抜き価格表示」の容認によって、

- ①「〇〇円＋税」…本体価格のみの表示
- ②「〇〇円(税込〇〇円)」…本体価格と税込み価格の両方表示
- ③「〇〇円(税込)」…税込み価格のみの表示

などの価格表示となります。

パンフレット等であれば①の表現が印刷の直しとかなくて良いかと思えます。ぜひご検討下さい。

千葉県鍼灸マッサージ協同組合よりお知らせ

問合せは TEL043-290-7538

= 廃鍼処分のご案内 =

鍼治療をおこなう施術者の皆様には医療産業廃棄物の処理を適切に行っていただくために当組合にて下記の内容にて処分を行うようになりました。

1年に最低でも1回以上の回収をしていただき行政への報告もするようにしましょう。

【廃鍼事業の流れ】

- ① 申込み用紙を組合事務局へ FAX し、費用を払込
- ② 組合事務局にて申込みを受け付け 廃棄物業者に連絡
- ③ 廃棄物業者が治療院へ契約書、容器を持って行く
- ④ 一年以内は回収依頼を組合事務局に連絡、約一年で回収
- ⑤ 廃棄物業者より、廃棄証明書の発行送付



7 L - 2,100 円



20L - 2,520 円

= チーバくん名刺のご案内 =

「公益社団法人千葉県鍼灸マッサージ師会 会員」・千葉県のキャラクター「チーバくん」が明記されたとても安心感のある名刺です。鍼灸マッサージの安心の印である「安心安全マーク」も入って県民市民の方にご理解いただきやすい名刺となっております。

治療院の患者さんや地域の行政の方への挨拶、啓蒙活動のときに交換をされるとイメージアップに効果的です。

会員ならではの特典(チーバくん入り)がある名刺になりますのでご依頼をお待ちしております。





発行 公益社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会
〒263-0021 千葉県千葉市稲毛区轟町 4-6-23
グランドメゾンとどろき 202
Tel.043-290-7538 Fax.043-290-7539
<http://www.harikyumassage.jp>

発行責任者 齊藤 曠
編集責任者 小室聡子